

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	156	2年	前期	看護学科	必修	臨床病態学Ⅰ(共通) Clinical Pathophysiology Ⅰ	30	1
担当教員								
脇坂 浩之								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
○	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
○	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
医療従事者として、実際の現場において、医師、薬剤師、理学療法士、介護福祉士などのスタッフと密な連携をとって行動できるようになるために、成人に特徴的な各種の疾患について、医療に携わるうえで必須な臨床医学の知識を獲得し、疾患の病態生理、診断法、治療法、予後が説明できるようになる。								
到達目標（授業目標）								
	① 良性腫瘍、悪性腫瘍の病態生理と診断法について説明できる。							
	② 良性腫瘍、悪性腫瘍の治療法と予後について説明できる。							
	③ 消化器疾患の病態生理と診断法について説明できる。							
	④ 消化器疾患の治療法と予後について説明できる。							
	⑤ 循環器疾患の病態生理と診断法について説明できる。							
	⑥ 循環器疾患の治療法と予後について説明できる。							
	⑦ 呼吸器疾患の病態生理と診断法について説明できる。							
	⑧ 呼吸器疾患の治療法と予後について説明できる。							
	⑨ 脳神経疾患の病態生理と診断法について説明できる。							
	⑩ 脳神経疾患の治療法と予後について説明できる。							
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							
1回	腫瘍総論：腫瘍の定義と分類、発生病理、悪性腫瘍の転移と進行度、腫瘍の診断と治療・予後について講義する。：脇坂 浩之							
2回	消化器疾患(1)：上部消化管：食道疾患・食道癌の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。：脇坂 浩之							

3回	消化器疾患(2): 上部消化管: 消化性潰瘍、胃癌の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
4回	消化器疾患(3): 下部消化管: 大腸癌、虫垂炎、腹膜炎、イレウスの病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
5回	消化器疾患(4): 肝臓: ウイルス性肝炎と肝硬変、肝癌の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
6回	消化器疾患(5): 胆嚢・膵臓: 胆道系疾患、膵炎、膵癌の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
7回	循環器疾患(1): 虚血性心疾患の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
8回	循環器疾患(2): 心不全の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
9回	循環器疾患(3): 不整脈、高血圧の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
10回	呼吸器疾患(1): 呼吸器感染症の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
11回	呼吸器疾患(2): 肺気腫・肺線維症・呼吸不全の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
12回	呼吸器疾患(3): 肺癌の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
13回	脳・神経疾患(1): 脳血管障害(脳出血、くも膜下出血、脳梗塞)の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
14回	脳・神経疾患(2): 脳腫瘍の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
15回	脳・神経疾患(3): 外傷性頭蓋内血腫の病態生理と診断法・治療法・予後について講義する。: 脇坂 浩之
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

成績は筆記試験で100%評価する。試験は100点満点とし60点以上を合格とする。

教科書	浅野嘉延、吉山直樹編「看護のための臨床病態学」(南山堂)
参考図書等	「看護学テキストNiCE 病態と治療編」(南江堂)

授業時間外の学習について(授業準備のための指示)

参考図書やプリントを用いた予習・復習(計1時間)が必須

関連科目

前科目	144	人体の構造・機能Ⅰ	145	人体の構造・機能Ⅱ	146	人体の構造・機能Ⅲ				
後科目	241	看護アセスメントⅡ	242	看護アセスメントⅢ						

実務家教員

医師(医療機関)	脇坂浩之								

備考

授業前中に配布するプリント等を活用して、授業内容を「記憶」しているのではなく、「理解」できていることが自覚できるように学習してください。疑問点はオフィスアワー(学生専用ページから曜日時間を確認してください。)を活用して質問しに来てください。